



2022年10月31日

各 位

会 社 名 株式会社 筑 邦 銀 行  
 代 表 者 取締役頭取 佐 藤 清 一 郎  
 (コード番号 8398 福証)  
 問 合 せ 先 取締役専務執行役員企画本部長  
 執 行 謙 二  
 (TEL 0942-32-5353)

### 2023年3月期第2四半期 有価証券評価損及び業績予想の修正に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、2023年3月期第2四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

また、2022年5月13日に公表しました2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)の業績予想について、下記「2. 業績予想の修正について」のとおり修正いたします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期第2四半期における有価証券評価損

	単体	連結
2023年3月期第2四半期会計期間(2022年7月1日から2022年9月30日まで)の有価証券評価損の総額(=A-B)	212百万円	212百万円
(A)2023年3月期第2四半期累計期間(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の有価証券評価損の総額	212百万円	212百万円
(B)2023年3月期第1四半期累計期間(2022年4月1日から2022年6月30日まで)の有価証券評価損の総額	—百万円	—百万円

注1 四半期における有価証券(市場価格のない株式等を除く)の評価方法は、第1四半期から第3四半期までは洗替え方式、第4四半期は切放し方式を採用しております。

2 当行の決算期末は、3月31日です。

3 四半期における有価証券(市場価格のない株式等を除く)の減損処理につきましては、洗替え方式を採用しているため、決算期末の時価等により有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

#### 2. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 8,500	百万円 500	百万円 330	円 銭 54.48
今回発表予想(B)	8,705	925	600	98.93
増減額(B-A)	205	425	270	
増減率(%)	2.4	85.0	81.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	8,465	797	492	81.39

(2) 2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2022年4月1日~2022年9月30日)

	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,530	百万円 430	百万円 310	円 銭 51.18
今回発表予想 (B)	5,570	790	560	92.34
増減額 (B-A)	40	360	250	
増減率 (%)	0.7	83.7	80.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	5,639	838	616	101.81

(3) 修正の理由

(第2四半期累計期間)

銀行単体において、海外金利の上昇を背景に減損処理による有価証券評価損を計上しておりますが、企業倒産の減少に伴い与信関連費用が予想を下回る見込みであることなどから、前回予想を上回る見通しとなりました。

なお、連結業績予想の修正は、連結子会社のちくぎんリース株式会社において、割賦収入などの営業収益が予想を上回る見込みであり、経常収益は予想を上回る見通しとなりました。経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益は、主に単体業績予想の修正によるものです。

(通期)

通期の業績予想につきましては、2023年3月期第2四半期決算発表時にお知らせする予定です。

※ 本資料に記載されている予想数値は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上